



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,699	0.5	460	36.6	467	45.4	226	87.2
23年3月期第2四半期	5,670	30.7	337	△16.2	321	△15.6	120	△59.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 224百万円 (91.7%) 23年3月期第2四半期 116百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	40.42	—
23年3月期第2四半期	21.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第2四半期	7,469	569.52	3,191	42.6		
23年3月期	7,478	549.17	3,079	41.1		

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,184百万円 23年3月期 3,070百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	16.0	750	84.3	715	87.2	350	△27.4	62.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,591,630 株	23年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	397 株	23年3月期	353 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	5,591,240 株	23年3月期2Q	5,591,311 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であり、

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成23年11月1日(火)及び11月2日(水)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。

四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により被害を受けた生産体制の正常化などにより景気回復基調にあるものの、電力供給問題や欧米諸国の債務問題など、不確実な要素が増す状況で推移いたしました。食品業界及び外食業界におきましては、引き続き雇用環境や所得環境が厳しいことから、消費者の節約志向が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、ブランド戦略を堅持しながら、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、食品事業におけるドレッシング商品やパスタ関連商品が好調に推移したことなどから、56億99百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う売上総利益の増加などにより、営業利益は4億60百万円（前年同期比36.6%増）、経常利益は4億67百万円（前年同期比45.4%増）、四半期純利益は2億26百万円（前年同期比87.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

「おいしさと健康」のブランドイメージを訴求した地域密着型小売店への営業を推し進めてきたことにより、主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン、焙煎香りごま）や新商品のオリーブオイルを使用した健康志向ドレッシングの売上が好調に推移いたしました。

また、試食販売や他社とのコラボレーションなどによる販促を強化したことから、パスタ関連商品（パスタソース、スパドレ）の売上が大きく伸びました。

以上の結果、売上高は27億73百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は9億80百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

<平成23年度 新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成23年 9 月	ピエトロドレッシング わさびオリーブオイル ピエトロパスタソース うにクリーム ピエトロスープドレ3種類（コンソメ、トマト、生姜）

②通信販売事業

ミルクジャムアイスをはじめとしたピエトロファーマーズシリーズの新商品の投入に加え、オリーブオイルやワインなど販売商品を拡充し、専門店の味をご家庭でも味わっていただけるよう品揃えの充実を図ってまいりました。また、ホームページの全面リニューアルを行い、オンラインショッピングの利用促進を図りました。さらに、ダイレクトメールなどによる既存顧客のリピート率向上やメールマガジン配信などを行う一方、新聞広告を控え効率的な販促活動を実施してまいりました。

以上の結果、売上高は3億37百万円（前年同期比23.0%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期は37百万円のセグメント損失）となりました。

<平成23年度 通信販売新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成23年 6 月	ピエトロファーマーズ 冷製ジュレスープ（2種類） ピエトロファーマーズ ミルクジャムアイス（3種類） ピエトロファーマーズ ミルクジャム ニューサマーオレンジ ピエトロファーマーズ ピザ（5種類）
平成23年 7 月	村田厨房直送便「夏便り」
平成23年 9 月	村田厨房直送便「秋便り」 能古島唐辛子のレモン胡椒 〃 唐辛子バルサミコソース 〃 激辛辛味ソース 〃 唐辛子旨味ソルト

③ レストラン事業

季節ごとのフェアとして、「冷製パスタ」フェアなどを実施し、また、店舗限定メニューとして、「イタリア麺」、「つけ麺」、「鉄板スパ」などの新ジャンルを開発するなど、パスタ専門店としてメニュー強化を行ってまいりました。さらに、食品事業との連動キャンペーンや店舗特性に応じた販促企画を実施して、集客力の向上を図ってまいりました。

しかしながら、外食を控える傾向が続いており、来客数の減少や直営5店舗の閉店の影響などにより、前年同期と比べ減収となりました。一方、コスト管理の強化や本部間接費の削減を行い、利益向上を図りました。

以上の結果、売上高は15億82百万円（前年同期比11.8%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期は44百万円のセグメント損失）となりました。

<平成23年度 レストランフェアメニュー>

提供時期	フェアメニュー
平成23年4月～5月	春の味わいパスタフェア
平成23年6月～8月	冷製パスタフェア
平成23年9月	カルボナーラフェア

④ 生産管理事業

商品開発と生産管理に関する受託事業につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしました。

売上高は9億34百万円（前年同期比9.0%減）となり、セグメント利益は商品構成が変わったことから11百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

⑤ その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は72百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は29百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、74億69百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億24百万円、商品及び製品が22百万円増加する一方、その他の流動資産が2億60百万円、有形固定資産（純額）が92百万円、減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少し、42億77百万円となりました。これは主にその他の流動負債が47百万円、役員退職慰労引当金が49百万円増加する一方、買掛金の減少22百万円、返済などによる長期借入金の減少2億28百万円などによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加し、31億91百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億11百万円及び四半期純利益2億26百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、「おいしさと健康」を追求した新商品・新メニューの提案や新しいピエトロファンを創出するための施策の実施をとおして、ブランド価値のさらなる向上を図ってまいります。

平成23年9月には、ピエトロドレッシングのイメージキャラクター（アンバサダー）に、モデル・女優の佐々木希さんを起用し、新しいテレビCMの全国での放映を開始しております。

食品事業、通信販売事業及びレストラン事業の各事業におきましては、CMと連動した販促活動や情報発信をとおして、営業力の強化を図ってまいります。

なお、連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	700,421	1,024,917
預け金	57,597	54,538
売掛金	1,090,012	1,052,212
商品及び製品	78,347	100,945
仕掛品	2,023	3,094
原材料及び貯蔵品	116,769	119,176
その他	611,528	351,364
貸倒引当金	△20,285	△6,892
流動資産合計	2,636,413	2,699,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,755,772	1,694,023
土地	1,968,498	1,965,002
その他（純額）	213,263	185,987
有形固定資産合計	3,937,534	3,845,014
無形固定資産	6,941	14,919
投資その他の資産		
敷金及び保証金	527,513	516,107
その他	395,223	409,874
貸倒引当金	△25,380	△16,161
投資その他の資産合計	897,356	909,820
固定資産合計	4,841,832	4,769,755
資産合計	7,478,246	7,469,113
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	602,657	579,968
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	418,472	336,820
未払法人税等	13,281	23,183
賞与引当金	46,659	55,107
その他	580,980	628,616
流動負債合計	3,062,050	3,023,695
固定負債		
長期借入金	679,864	533,080
退職給付引当金	66,582	76,017
役員退職慰労引当金	369,295	418,306
資産除去債務	50,204	50,690
その他	170,683	175,513
固定負債合計	1,336,629	1,253,606
負債合計	4,398,680	4,277,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,082,361	2,196,560
自己株式	△328	△364
株主資本合計	3,073,356	3,187,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,338	△1,612
為替換算調整勘定	△1,435	△1,588
その他の包括利益累計額合計	△2,773	△3,201
少数株主持分	8,983	7,494
純資産合計	3,079,566	3,191,811
負債純資産合計	7,478,246	7,469,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,670,931	5,699,976
売上原価	3,012,128	2,927,654
売上総利益	2,658,802	2,772,321
販売費及び一般管理費	2,321,731	2,311,726
営業利益	337,071	460,595
営業外収益		
受取利息	318	245
受取配当金	559	537
貸倒引当金戻入額	—	22,479
株式割当益	1,941	—
その他	752	2,959
営業外収益合計	3,572	26,221
営業外費用		
支払利息	13,885	10,515
その他	5,320	8,963
営業外費用合計	19,206	19,478
経常利益	321,437	467,337
特別損失		
固定資産除却損	482	1,483
減損損失	—	3,054
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46,595	—
その他	6,719	—
特別損失合計	53,797	4,537
税金等調整前四半期純利益	267,639	462,800
法人税、住民税及び事業税	141,042	26,517
法人税等調整額	5,869	211,682
法人税等合計	146,912	238,199
少数株主損益調整前四半期純利益	120,727	224,600
少数株主損失(△)	—	△1,423
四半期純利益	120,727	226,023



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,727	224,600
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,178	△274
為替換算調整勘定	△1,648	△219
その他の包括利益合計	△3,826	△493
四半期包括利益	116,901	224,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,901	225,596
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1,489

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	267,639	462,800
減価償却費	106,442	102,283
減損損失	—	3,054
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46,595	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,035	△22,612
賞与引当金の増減額 (△は減少)	933	8,447
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,507	9,435
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,411	49,011
受取利息及び受取配当金	△878	△782
支払利息	13,885	10,515
売上債権の増減額 (△は増加)	△244,037	37,799
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,202	△26,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	185,434	△22,646
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,781	2,484
その他	△45,489	30,290
小計	331,989	643,996
法人税等の支払額	△94,695	△19,269
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>237,294</b>	<b>624,727</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29,985	△30,000
定期預金の払戻による収入	15,000	—
有形固定資産の取得による支出	△20,724	△15,013
有形固定資産の売却による収入	—	3,458
敷金及び保証金の差入による支出	△8,991	△55
敷金及び保証金の回収による収入	77,771	96,250
保険積立金の積立による支出	△25,779	△25,779
利息及び配当金の受取額	2,227	782
その他の収入	3,840	5,551
その他の支出	△22,306	△5,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,947</b>	<b>29,951</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△267,878	△228,436
リース債務の返済による支出	△11,372	△11,262
自己株式の取得による支出	△43	△36
配当金の支払額	△89,112	△111,471
少数株主からの払込みによる収入	10,408	—
利息の支払額	△13,685	△9,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△371,682</b>	<b>△360,622</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,040	△2,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△145,376	291,437
現金及び現金同等物の期首残高	956,060	692,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	810,683	984,210

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,334,848	438,103	1,793,652	1,026,890	77,435	5,670,931	—	5,670,931
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,184	1,184	(1,184)	—
計	2,334,848	438,103	1,793,652	1,026,890	78,620	5,672,116	(1,184)	5,670,931
セグメント利益 又は損失(△)	855,126	△37,697	△44,376	20,964	34,399	828,416	(491,344)	337,071

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は491,344千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	72,326	5,699,976	—	5,699,976
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	974	974	(974)	—
計	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	73,300	5,700,951	(974)	5,699,976
セグメント利益	980,560	13,754	14,234	11,640	29,391	1,049,582	(588,987)	460,595

(注)1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は588,987千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。